

# 女給の社会史

ISBN978-4-8295-0870-1

篠原昌人 著 四六判ソフトカバー240頁 本体 2,300円

明治・大正・昭和の時代  
 繁華街のカフェを盛り上げた「女給」は  
 どのように生まれ、どう拡がり  
 そしてどうして消えていったのか  
 さまざまなエピソードで綴る都市風俗史



初期のカフェ銀座「ライオン」



『社交タイムス』の広告欄は女給募集広告がたくさん

- ♥日本初のカフェは明治44年開業の銀座「カフェ・プランタン」に「女ボーイ」が誕生
- ♥女給の始まりは活動写真館の案内娘から
- ♥昭和初期のカフェは永井荷風らの小説の舞台になった
- ♥戦時体制に女給も積極的に貢献
- ♥林芙美子・平林たい子・佐多稲子のカフェ女給体験
- ♥エロサービスを売りに大阪のカフェが東京に進出
- ♥公給領収証義務化に反対して女給もデモ行進
- ♥スパイが暗躍した国際情報戦の舞台となったカフェ

序章 鬱陵島にて

第1章 女ボーイ誕生／帝都名妓の給仕

第2章 青春のミルクホール／学生街のアイドル

第3章 女給の始まり／活動館の華

第4章 女工の転身／カフェ女給

第5章 女流作家の台頭／女給体験さまざま

第6章 小さなデモクラシー／女給同盟

第7章 職業女給の確立／カフェ全盛

第8章 爛熟の陰翳／エロ・出銭・女給税

第9章 花開くガールの群れ／花の先端職業

第10章 国際情報戦の陰で／スパイを支えた女給

第11章 非常時突入／国策とともに

第12章 カフェから社交喫茶へ／変化のなかの女給

第13章 女給からホステスへ、BGからOLへ

補章 幻の女給

終章 パウリスタにて



社交喫茶の女給



カフェー「銀座会館」



女給3000人がデモ行進

時代の「尖端」をいく女給たちの  
 たくましい生きざまを  
 生き生きと描いたノンフィクション

11月中旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 10月31日(火) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033  
 東京都文京区本郷3-3-13  
<http://www.fuyoshobo.co.jp>  
 TEL. 03-3813-4466  
 FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
女給の社会史		
11月新刊 本体 2,300円	部	